

樋口なおき 6月定例会 一般質問

「観光振興について」は、私の議員として2回目の一般質問となった2015年9月議会でも取り上げたテーマであり、前回の一般質問で提案させていただいた

- (1) 観光客数だけにとらわれず、観光消費額も意識すべき
- (2) 日帰り観光に満足せず、宿泊観光も推進すべき
- (3) 消費額向上・宿泊推進のために、日本遺産に申請すべき

の3つについてそれぞれ進捗を確認し、(1),(2)とも現在は質問後に策定された「川越市第二次観光振興計画」の数値目標として位置づけがなされ、基準値である2014年に対して増加傾向にあることが確認できました。

また、日本遺産もその活用が同計画に位置づけられ、これまで3年にわたり申請をさせていただいているものの、今年も不採用となった経過を確認しました。そのうえで、今回は下記3つの提案をさせていただきました。

■蔵里周辺エリアの面的整備について

今年の3月に小江戸蔵里の昭和蔵がリニューアルオープンし、リニューアル後に迎えたはじめてのゴールデンウィークでは、利用人数・売り上げ共に前年度を上回り、好調であることを確認しました。

そのうえで、連雀町新富町通線道路整備事業について伺いました。

連雀町新富町通線は蔵里の前の道、クリアモール商店街の北部から大正口マン夢通り入口手前までの道路の美化がされていない区間を指しますが、こちらの整備事業は「歴みち」の構想路線であり、「川越市中心市街地活性化基本計画」にも位置づけられている事業ではあるものの、ながらく動きが見えない事業であります。

この事業が進めば、川越駅からクリアモール商店街、大正口マン夢通りへの導線が視覚的に確保されることから、観光客の回遊性が向上するとともに、歩いてまわられる観光地としての側面も向上させます。

また、現在、この道路の西側は観光客の本川越駅から一番街への導線ともいえる中央通り線の整備も進んでおり、こちらに続いて整備を進めていくことで、蔵里周辺エリアの面的整備に繋がります。

そこで、「連雀町新富町通線道路整備事業に取り組むべき」と提言させていただきました。

■民泊について

6月15日からいわゆる「民泊新法」が施行され、全国的に民泊の制度がスタートしました。

民泊は訪日外国人の受け皿として、日本に観光立国の道を開くと期待される新たな宿泊形態の1つであり、川越においても宿泊観光推進や消費額向上にも寄与する施策であるものの、一方で、適正な運営がなされない場合などについての不安の声も市民の方から多く聞かれる施策です。

このように、民泊は全く新しい制度のため、その制度には多くの期待と多くの不安がぶつかりあっている状態にあります。

そのような中で重要なのは、やはり市民の皆様の安心安全な生活が約束されたなかで健全な民泊が発展することであり、市としてもまずは現在の市民の皆様が抱える期待や不安といった意識をしっかりと把握すべきだと考えます。

そこで、「民泊に対する市民意識を調査すべき」と提言させていただきました。

■日本遺産について

日本遺産については、3年連続で文化庁に申請していただいているものの、未だ認定には至っておりません。

日本遺産は観光振興はもちろんのこと、文化振興や川越市のブランディングにも寄与する大変有効な施策であり、上述したように川越市第二次観光振興計画にもその活用が明記されております。

しかし、市では「今後の申請は未定」とのことでありました。

そこで、「次回の認定に向けて再度申請すべき」と提言させていただきました。

また、これまで認定されなかったストーリー（申請内容）も、文化庁が認定してさえいけば、それが川越市における日本遺産として世界に発信していたはずの誇るべきストーリーです。

これらのストーリーはそれぞれ、川越の文化的・歴史的魅力を改めて整理していただいたものであり、その文化的資源・歴史的資源、ひいては観光資源としての本質的な価値は認定されなくとも失われることはないと考えます。

そこで、「これまで日本遺産に申請したストーリーは、まちづくりにおいて様々な分野で活かすことができる重要な財産であり、有効活用すべき」と提言させていただきました。

川越駅周辺対策特別委員会体制変更

副委員長の互選および委員長の辞任にともなう委員長の互選が行われ、私が指名推薦により副委員長を拝命いたしました。

委員長：大泉 一夫 副委員長：樋口 直喜

岸 啓祐 田畑 たき子 長田 雅基 荻窪 利充
三浦 邦彦 中村 文明 中原 秀文 高橋 剛 吉田 光雄
川口 知子 矢部 節

川越地区消防組合のあり方に関する特別委員会

新たな特別委員会として、「川越地区消防組合のあり方に関する特別委員会」が設置されました。

委員長：新井 喜一 副委員長：小林 薫

明ヶ戸 亮太 柿田 有一 高橋 剛 三上 喜久蔵
小ノ澤 哲也 片野 広隆

樋口なおき Naoki Higuchi プロフィール ～川越のために、真面目に。～

- 昭和58年2月23日、川越市脇田町生まれ
- 家族：妻、子、母、猫2匹
- 川越市立中央小学校（FCミドル所属）
川越市立川越第一中学校（バスケット部 部長）
西武学園文理高等学校（バスケット部）
明治大学 商学部 卒業
- （株）博報堂など、民間企業で社会を学ぶ
- 2011年 川越市議会議員選挙に挑戦し、惜敗

- 選挙後、政治を学び直すため、仕事をしながら
明治大学 公共政策大学院 に入学・修了
2015年3月修了 公共政策修士（専門職）取得
- 衆議院議員※秘書（公設）として採用され、
国政の現場で学ぶ ※西岡新 元代議士（愛媛2区）
- 2015年 市議会議員に当選（現1期）
- 川越まつりには、脇田町の山車の曳き手の会
「葵家康会」の一員として参加しています！

〒350-1122 川越市脇田町13番地15
電話：049-224-2844
携帯：090-5323-7284
ホームページ：http://higuchinaoki.jp

樋口なおき

検索